

患者さんへ

「脾臓に対する CT ガイド下 core needle biopsy の出血リスク因子に関する検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2012 年 4 月～2022 年 10 月に当院で脾臓に対する CT ガイド下コア生検 (Core needle biopsy : CNB)を行った方
2 研究目的・方法	脾臓は、悪性リンパ腫、他臓器癌の転移、感染などを受けることがある臓器です。画像診断が進歩し病変を見つける画像能力は上がっていますが、それがどの疾患なのかを断定する能力はあまり上がっていません。そのため経皮的に脾臓に針を穿刺して組織を採取する針生検が有用になります。しかし針生検に対する安全性の研究はいまだ途上であり、とくに出血が問題になりますが、そのリスクとなる因子は同定できていません。 この研究では、脾臓の針生検後に出血した症例において、どのような特徴があるのかを検討します。 研究の期間:施設院長許可後～2023 年 12 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、病歴、内服薬、肝機能などの血液検査、副作用等の発生状況 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 増田作栄 湘南鎌倉総合病院 消化器病センター 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2022 年 09 月 23 日作成(第 1 版)